

第 8 期介護保険事業計画における第 1 号被保険者の推計の考え方について

1 人口推計について

介護サービス利用者数と介護サービス給付費の算定、その費用の一部をまかなう第 1 号被保険者の保険料額を決定するため、65 歳以上の第 1 号被保険者数の推計を行う必要がある。

推計にあたって、国（厚生労働省）から提示されている「地域包括ケア見える化システム※」の将来推計機能を活用することとされており、その中で

- A 国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」）の示した「日本の地域別将来推計人口（平成 27 年国勢調査 平成 30 年推計）」
- B A で推計した令和元年 10 月人口と令和元年 10 月の第 1 号被保険者数の実績が一致するように補正係数を算出し、これを A に乗じることで A の推計を補正した推計
- C 保険者独自の推計

の 3 パターンのいずれかをを用いて人口の推計を行うこととされている。

※地域包括ケア見える化システム…市町村における介護保険事業計画等の策定・実行を総合的に支援する情報システム

2 第 7 期介護保険事業計画の人口推計について

本市の第 7 期計画期間中における人口推計は、平成 27 年国勢調査実績値をベースに社人研が平成 29 年に示した人口推計を用いた。（「1 人口推計について A」の推計方法）

この結果、下記のグラフのとおり、推計値と実績値で年平均約 410 人のかい離が生じた。要因として、本市は、病院や介護施設の数が多いため、3 か月以上の長期入院者や施設入所者が国勢調査では高岡市の人口として計上され、国勢調査の人口が住民基本台帳の人口より多くなることが考えられる。

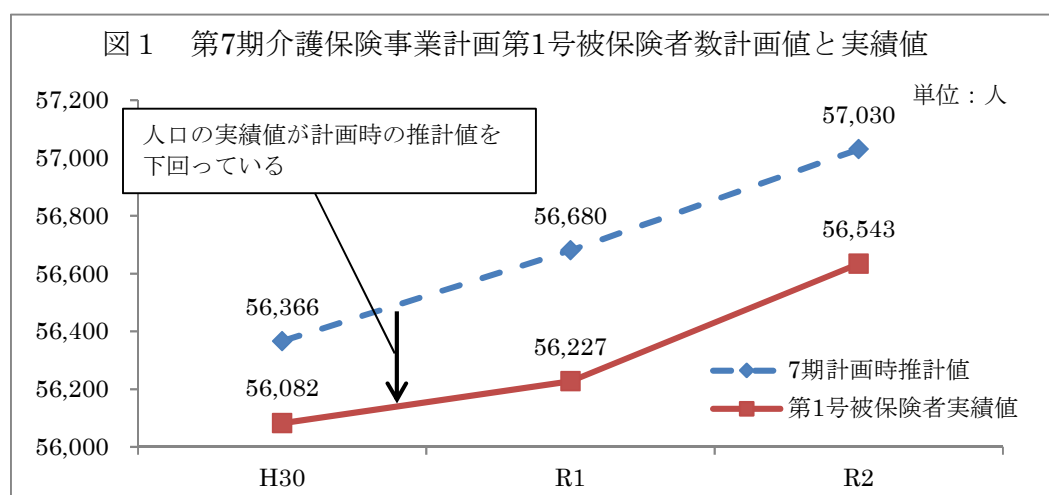


表 1 (単位：人 各数値は 10 月 1 日時点 令和 2 年度被保者は推計値)

	H30	R1	R2	計
7 期計画値 (A)	56,366	56,680	57,030	170,076
第 1 号被保険者数 (B)	56,082	56,227	56,543	168,941
計画値と実績値の差 (A) - (B)	284	453	487	1,224 (平均 408)

3 第8期介護保険事業計画中の高齢者人口推計について

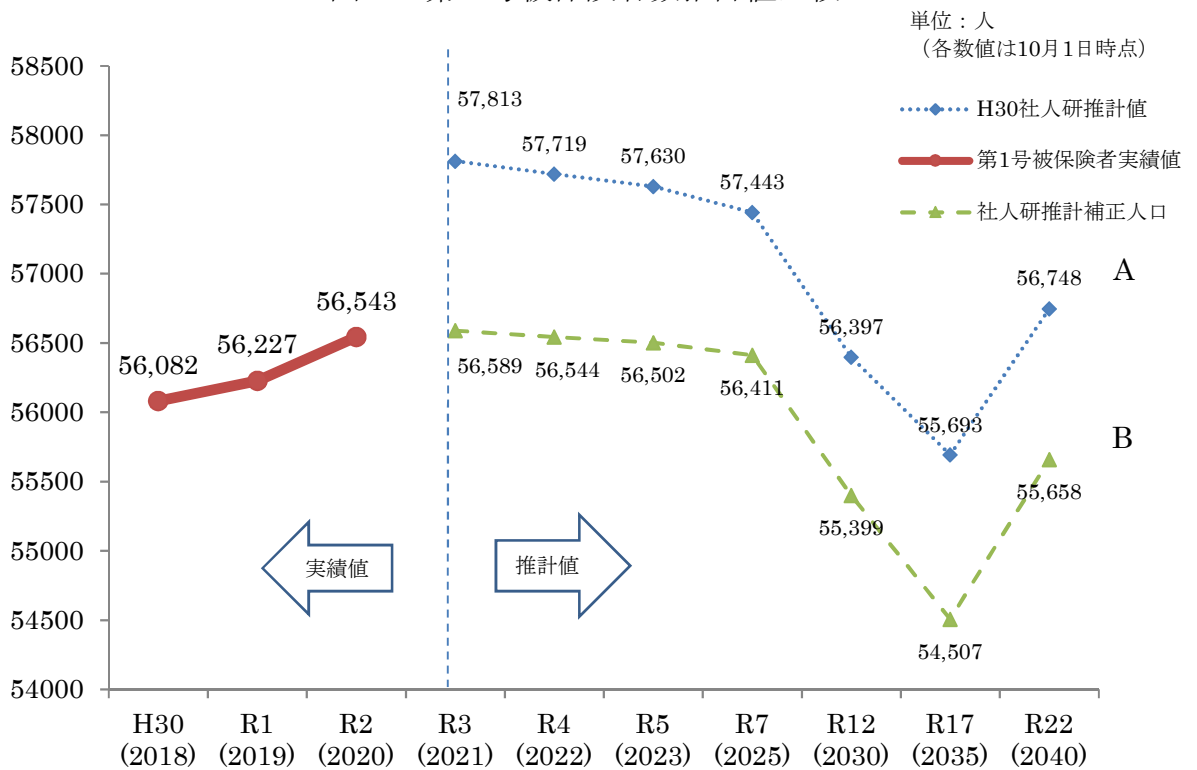
国から提示されている8期用推計値（A※¹）は、7期と同様に平成27年国勢調査の数値がベースになっており、8期計画に用いた場合、7期計画策定時よりもさらに推計値と実績値の乖離が大きくなると考えられる。

B※²の推計値は、令和元年の実績値をもとにした推計値であり、Aの推計値と比較し、推計値の乖離が少なくなると見込まれる。また、他の計画（第2期総合戦略）等においても、独自推計は行われず、社人研の推計に基づいていることからBの推計値を用いることとする。

※1 A…社人研の示した「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」

※2 B…Aで推計した令和元年10月人口と令和元年10月の第1号被保険者数の実績が一致するように補正係数を算出し、これをAに乗じることでAの推計を補正した推計（平成30年に再推計したものであり、第7期計画時推計（図1）で用いた数値と異なる）

図2 第1号被保険者数推計値比較



4 被保険者数、要介護（支援）認定者数の推計について

(1) 被保険者数について

表2 被保険者数

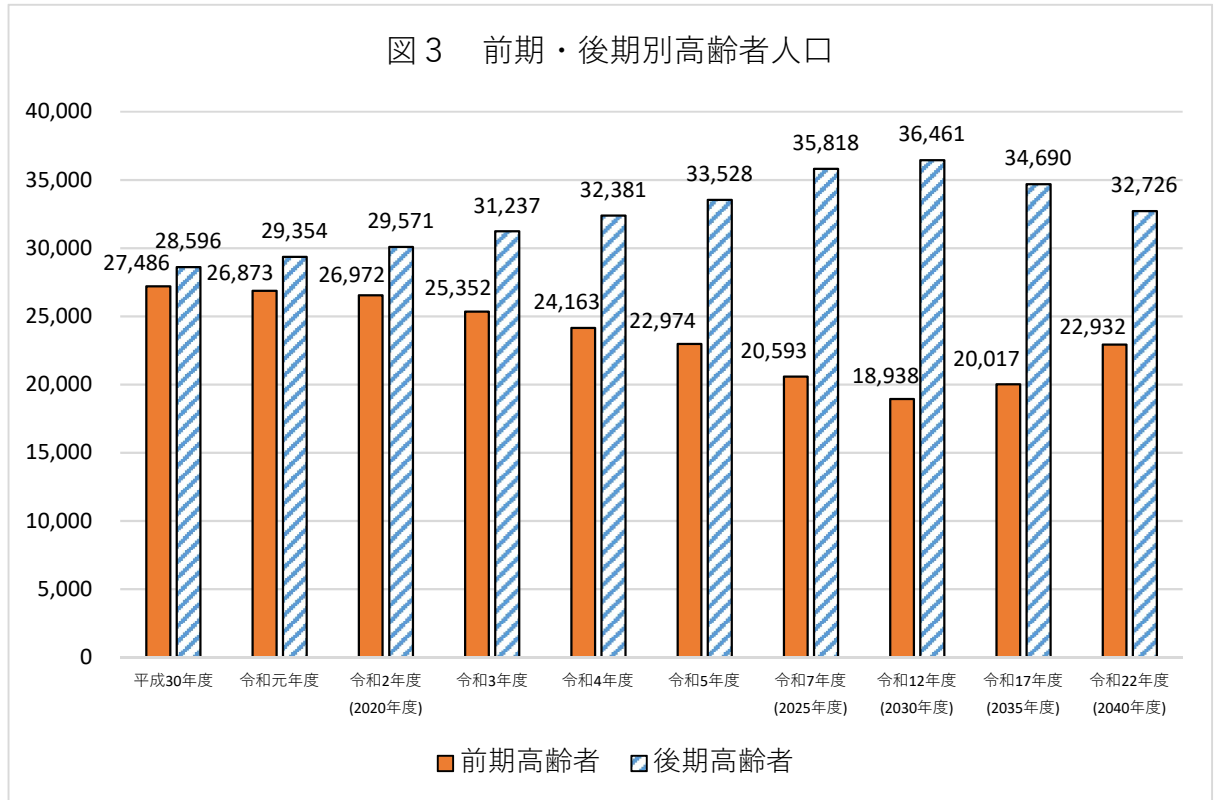
単位:人

	7期			8期				9期		11期	12期	14期	
	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (2020年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	伸び率① ※1	令和7年度 (2025年度)	伸び率① ※2	令和12年度 (2030年度)	令和17年度 (2035年度)	令和22年度 (2040年度)	伸び率① ※2
総数	112,072	111,827	112,020	111,519	111,194	110,873	99.4%	110,222	98.6%	106,606	102,284	97,935	87.6%
第1号被保険者数	56,082	56,227	56,543	56,589	56,544	56,502	99.8%	56,411	99.6%	55,399	54,707	55,658	98.3%
	前期	27,486	26,873	26,972	25,352	24,163	91.0%	20,593	77.6%	18,938	20,017	22,932	86.4%
		49.0%	47.8%	47.7%	44.8%	42.7%		36.5%		34.2%	36.6%	41.2%	
	後期	28,596	29,354	29,571	31,237	32,381	107.6%	35,818	119.0%	36,461	34,690	32,726	108.7%
		51.0%	52.2%	52.3%	55.2%	57.3%		63.5%		65.8%	63.4%	58.8%	
第2号被保険者数	55,990	55,600	55,477	54,930	54,650	54,371	99.0%	53,811	97.5%	51,207	47,577	42,277	76.6%
高齢化率	33.1%	33.4%	33.8%	34.1%	34.3%	34.5%		35.0%		35.8%	37.2%	40.0%	

※1：第8期平均値/令和2年度の値*100

※2：令和7（22）年度の値/令和2年度の値*100

※前期・後期の下段は第1号被保険者に占める割合



考察

- ・保険料を負担する40歳以上の被保険者の総数は、7期計画（H30～R2）と比較すると8期計画（R3～R5）は若干減少しつつも、ほぼ横ばいで推移し、9期以降（R7～）は大きく減少すると見込まれる。【表2】
- ・第1号被保険者のうち前期・後期別に見ると、前期高齢者は令和12年度（2030年度）頃まで減少し続けるが、その後団塊ジュニア世代が順次65歳に到達するため増加に転じる。一方、後期高齢者は令和12年度（2030年度）頃まで増加し続け、その後減少に転じると予想される。【表2、図3】
- ・第1号被保険者に占める後期高齢者の割合は、令和12年度（2030年度）頃に最も高く65.8%になり、高齢者の約3人に2人は75歳以上となる。【表2】
- ・高齢化率は今後も増嵩し、2040年度には40%に到達する。【表2】

(2) 要介護（支援）認定者数について

表3 要介護（支援）認定者数

単位：人

	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (2020年度)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	伸び率① ※1	令和7年度 (2025年度)	伸び率① ※2	令和12年度 (2030年度)	伸び率① ※2	令和17年度 (2035年度)	伸び率① ※2	令和22年度 (2040年度)	伸び率① ※2
総数	10,706	10,926	11,050	11,196	11,380	11,599	103.1%	12,103	109.5%	13,251	119.9%	13,988	126.6%	13,912	125.9%
要支援1	955	1,017	990	1,009	1,041	1,066	104.9%	1,108	111.9%	1,208	122.0%	1,200	121.2%	1,124	113.5%
要支援2	975	997	1,005	1,025	1,042	1,058	103.6%	1,103	109.8%	1,195	118.9%	1,231	122.5%	1,155	114.9%
要介護1	2,538	2,544	2,590	2,609	2,646	2,697	102.3%	2,815	108.7%	3,081	119.0%	3,239	125.1%	3,158	121.9%
要介護2	2,169	2,210	2,235	2,258	2,295	2,344	102.9%	2,443	109.3%	2,694	120.5%	2,843	127.2%	2,817	126.0%
要介護3	1,673	1,683	1,745	1,768	1,788	1,817	102.6%	1,896	108.7%	2,061	118.1%	2,215	126.9%	2,305	132.1%
要介護4	1,483	1,527	1,491	1,492	1,511	1,541	101.6%	1,617	108.5%	1,790	120.1%	1,955	131.1%	2,046	137.2%
要介護5	913	948	994	1,035	1,057	1,076	106.2%	1,121	112.8%	1,222	122.9%	1,305	131.3%	1,307	131.5%
うち第1号被保険者数	10,519	10,737	10,865	11,010	11,196	11,416	103.2%	11,920	109.7%	13,079	120.4%	13,825	127.2%	13,768	126.7%
要支援1	936	1,006	979	999	1,031	1,056	105.1%	1,098	112.2%	1,199	122.5%	1,192	121.8%	1,116	114.0%
要支援2	963	979	988	1,006	1,023	1,040	103.5%	1,085	109.8%	1,178	119.2%	1,214	122.9%	1,140	115.4%
要介護1	2,497	2,499	2,550	2,570	2,608	2,659	102.4%	2,777	108.9%	3,045	119.4%	3,205	125.7%	3,128	122.7%
要介護2	2,130	2,172	2,205	2,230	2,267	2,316	103.0%	2,415	109.5%	2,667	121.0%	2,818	127.8%	2,795	126.8%
要介護3	1,651	1,658	1,710	1,730	1,750	1,779	102.5%	1,858	108.7%	2,025	118.4%	2,182	127.6%	2,276	133.1%
要介護4	1,460	1,503	1,466	1,466	1,485	1,515	101.5%	1,591	108.5%	1,766	120.5%	1,931	131.7%	2,025	138.1%
要介護5	882	920	967	1,009	1,032	1,051	106.6%	1,096	113.3%	1,199	124.0%	1,283	132.7%	1,288	133.2%

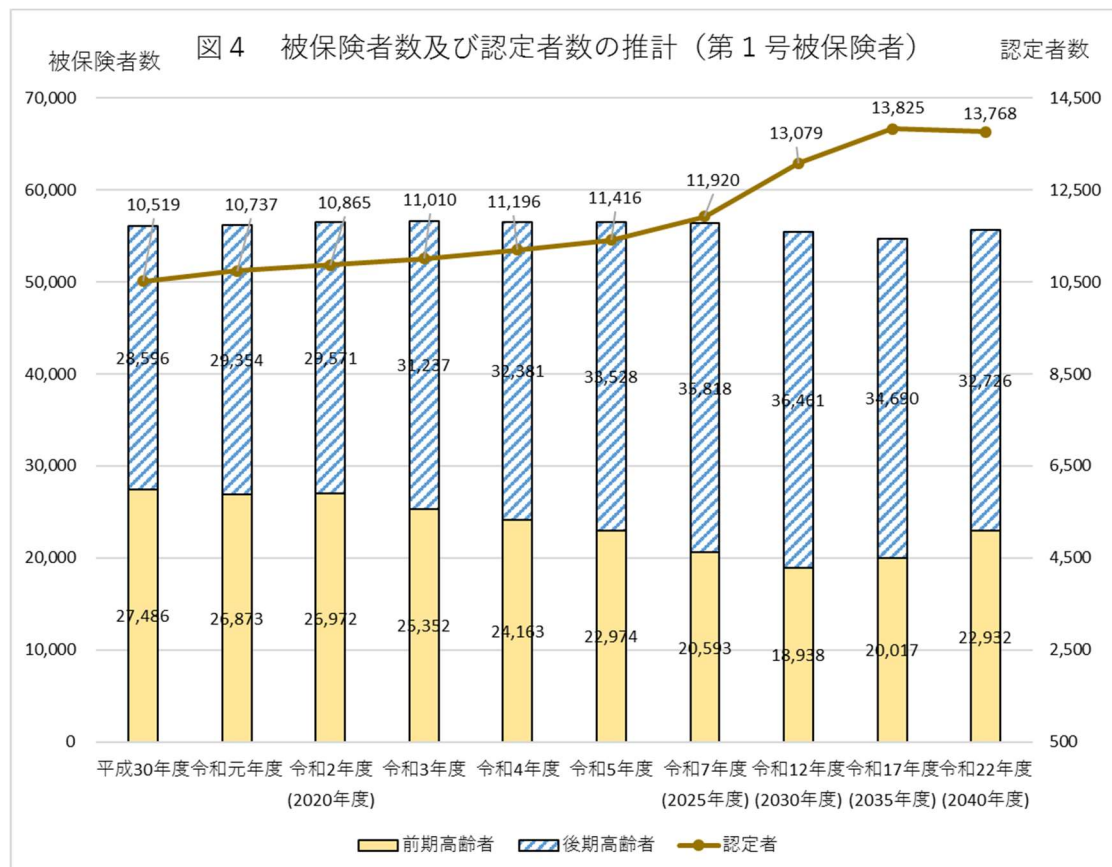
※1：第8期平均値/令和2年度の値×100

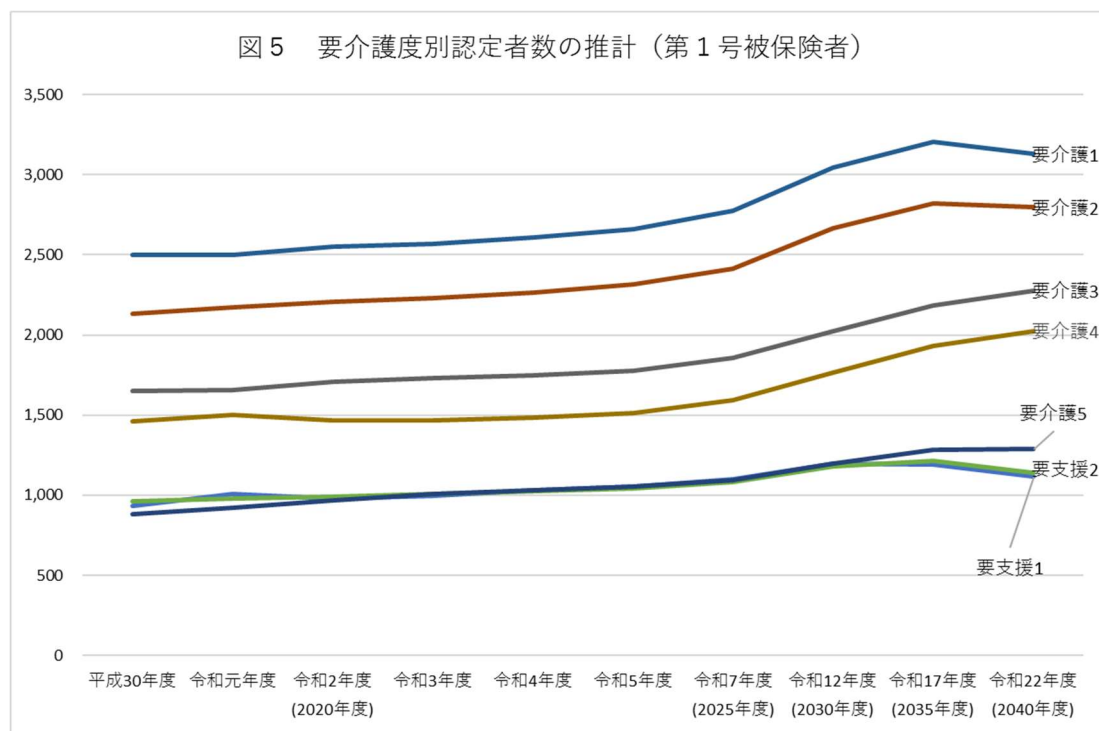
※2：令和7(22)年度の値/令和2年度の値×100

※平成30年度、令和元年度は厚生労働省介護保険事業状況所報告9月月報の値（各年度9月末時点の実績値）

令和2年度は、直近月報の実績値（令和2年7月月報値）

令和3年度以降：各年度の被保険者数×令和2年度の認定率





考察

- ・ 8期計画（R3～R5）の要介護（支援）認定者数は令和2年度と比較し、全体として3.1%の増と微増である。【表3】
- ・ 団塊の世代が75歳以上となる令和7年度（2025年度）以降、後期高齢者の増加に伴い要介護（支援）認定者が急激に増加し、その後も令和17年度（2035年度）まで増加し続け、ピークを迎えると予想される。【表3、図4】
- ・ なかでも要支援2～要介護2の比較的軽度認定者は、団塊の世代が85歳以上となる令和17年（2035年）にピークを迎えると予想される。さらに、5年後の令和22年度（2040年度）には、団塊の世代が90歳以上となり、中重度（要介護3～5）の認定者数がピークを迎えると予想される。【表3、図5】